

報 広

みぶ

2017

1

No.692

鳥居元忠 山城伏見ノ別レ

壬生町立
歴史民俗資料館

2017年
2月4日[土]—3月19日[日]

精忠神社
三百三十三年祭
御祭神
鳥居彦右工門
元忠公



武者行列



主要内容

新年のごあいさつ 2~3
資料館企画展 鳥居元忠 山城伏見ノ別レ ... 4~5

ごあいさつ



壬生町長
小菅 一弥

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、地方創生元年として、新たなまちづくりの指針「壬生町第6次総合振興計画」も無事スタートし、また、「おもちゃのまち魅力アップ推進事業」をはじめとする地方創生事業も順調に進めることができました。これも、住民の皆様並びに町議会を始めとする関係各位のご指導・ご鞭撻の賜物と心より感謝を申し上げます。

さて、世界に目を向けますと、昨年は、ブラジル・リオデジャネイロにおいてオリンピック・パラリンピックが開催され、日本をはじめとする世界中のアスリートたちの活躍は、私たちに大きな感動を与えてくれました。また、秋には、世界の注目が集

まる中、アメリカ大統領選挙が行われましたが、その結果は、今なお世界の外交・経済に大きな影響を及ぼしております。

国内においては、熊本県や鳥取県で地震が発生し、さらには、日本列島への台風の上陸や接近により、全国各地で洪水被害などが発生するなど、災害の多い年でもありました。

被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

そのような中、昨年のNHK大河ドラマ「真田丸」に、本町出身の俳優 栗原英雄さんが、主人公 真田（信繁）幸村の叔父役で出演されるという嬉しいニュースもありました。長年舞台で培った円熟味のある演技は大きな話題となりましたが、故郷の私たちも、栗原さんの今後

益々のご活躍を期待しますとともに、多くの皆様と共に応援したいと思います。

さて、最近の社会経済動向は、アメリカ新政権の影響もあり、一部で先行き不透明な状況が続いておりますが、国内では、緩やかながら景気も上向き、地方創生や政府による景気刺激策も徐々に成果が表われてきております。

そのような中、地方を中心に少子高齢化と人口減少は急速に進み、そのスピードに歯止めをかけることは、多くの自治体にとって喫緊の課題となっておりますが、本町は、平成27年国勢調査の結果、宇都宮市、小山市に次いで、人口が増加した県内唯一の町となりました。

これも、町政に対する皆様のご支援・ご協力の賜物と心より感謝を申し上げますとともに、この結果に安堵することなく、健康で長生きできる、安心して子育てができるなど、誰もが充実した生活が送れる「住み良いまちづくり」を進めて参ります。

「おもちゃ」をはじめ、自然や歴史、文化など、本町の恵まれた資源を活かし、引き続き、魅力あるまちづくりを推進して参りますとともに、地域の安全は、地域で守るとの考えを基本に、自助、共助、公助それぞれ

の役割や機能を十分に生かし、安全安心のまちづくり、防災・減災に取り組んで参ります。

また、子育て支援では、保育園施設の適正配置や民間との機能分担について検討を進めるとともに、多様化するニーズに対応した、きめ細やかな子育て支援を図るため、放課後児童クラブや新たな認定こども園の整備を進めて参ります。

健康長寿のまちづくりでは、「みぶまち・獨協健康大学」でのリーダーの育成や身近で気軽にできるラジオ体操の活用など、引き続き、町一丸となって健康づくりに取り組んで参ります。

社会基盤の整備では、生活道路、雨水排水施設、上・下水道につきましましては、緊急性や必要性等を勘案しながら、計画的な整備を進めて参りますとともに、六美町北部地区での土地区画整理につきましましては、円滑な推進に向け、整備内容や推進体制についての協議・検討を重ねて参ります。

農業振興では、下稲葉地区での圃場整備が、来年度より、県事業としてスタートする予定ですが、農地の集積や大区画化による作業効率の向上や経営規模の拡大などが期待されますことから、事業推進に向け、県及び地元関係者との調整に努めて参

ります。

また、商業観光の振興では、「みぶブランド」の拡大による地域経済の活性化やボランティアガイドによる観光振興などに取り組んで参りますとともに、商工会やおもちゃ団地協同組合との連携のもと、産業振興や地域の活性化に資する事業の充実を図って参ります。

さらに、新たな企業誘致の受け皿となる産業基盤の整備につきましても、県関係機関との連携を図りながら、検討を進めて参ります。

以上、主なものについて申し上げますが、本町を取り巻く環境も大きく変化し、また、行政が抱える課題も、年々、多様化・複雑化してきております。

今後、それらの課題克服のため、地方創生事業を核とした魅力あふれるまちづくり、地域づくりを進めて参りますとともに、引き続き、「住み良い、住んでみたい町」をめざし、皆様との協働のまちづくりを推進して参ります。

年頭に当たり、皆様方の御多幸をご祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新年の

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい平成29年の新春を迎えることと、町議会を代表いたしまして心よりお慶び申し上げます。

重ねて、日頃より町議会活動に対し深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて昨年は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいて日本人選手達が史上最多のメダルを獲得し、中でも水泳や柔道では本県出身の選手が大活躍するなど日本中が大いに沸き上がりました。特にパラリンピックでは本町出身の駒崎選手がボート競技決勝に進む大活

躍を果たしましたが、このような檜舞台に将来にわたって本町出身の選手が輩出され続けることを期待するものであります。

また、夏の甲子園では本県代表の作新学院が54年ぶりに優勝するなど、喜ばしい話題が多くあった一年ではなかったかと思えます。

そのような中で、昨年発表された国勢調査の結果において、前回の調査よりも町の人口が約350人増加していることが分かりました。地方の人口減少が危惧されている昨今、栃木県内の町においては唯一の人口増加という素晴らしい結果を得ることができたわけですが、これらひとえに壬生が持っている多様な魅力や町の諸政策の強みが存

分に活かされた成果であると思えます。さらにファナック株式会社壬生工場が昨年10月に一部稼働を開始したことや、獨協医科大学敷地内に大型ビジネスホテルの建設が着工するなど、本町の活性化や地域の産業発展への期待を高める様々な要素が見受けられ、未来に向けて新たなチャンスが到来する予感に満ちております。

あらためて昨年の国内の出来事を振り返りますと、5月には伊勢志摩サミットのため来日したオバマ大統領が現職のアメリカ大統領として初めて広島を訪問し、7月には「18歳選挙権」導入後初めての国政選挙となる参議院議員選挙が行われ、10月には大隅良典氏が「オートファジー」の研究によってノーベル生理学・医学賞に選出され、日本人が3年続けて授賞という快挙を成し遂げるなど日本にとって大変誇らしく意義深いニュースがあった反面、政治と金にまつわる問題で現職の大臣や都知事が辞任したり、富山県での政務活動費の不正受給の発覚など非常に残念な事態も起こりました。さらに各地で地震や台風

などの災害が頻発し、特に4月に発生した熊本地震は多くの死者を出す大惨事となりました。今後関東地方でも首都直下型地震が起こる可能性も懸念されており、ひとたび発生した場合に本町も何らかの影響はまぬがれないと危惧されます。もとより我々町議会は平成25年に壬生町議会災害対策本部設置要領を策定しており、一昨年の大雨災害の時にも迅速に対策本部を立ち上げ対応するなど常日頃から災害に対する万全の心構えを持っていくわけですが、昨年は3月に行われた壬生町防災訓練に議員全員で参加し、災害対策活動の支援や議会並びに議員の適切な役割分担と対応方策の確認などを行うことで、さらなる高い危機管理意識を持って不測の事態に備えるべく気持ちを新たにすることが出来ました。

貴重なご意見をいただけることは、我々議員にとっても大変有意義な機会と捉えております。今回もより一層住民に開かれた議会を目指し、皆様と直接お話をさせていただきたいと思えますので、是非とも多くの方々に会場に足をお運びいただくようよろしくお願い致します。

また議会改革の一環として、昨年末から議長交際費の執行状況を町のホームページで公開するように致しましたので、こちらもご覧いただきたいと思えます。これからも住民の目線を何よりも大切に、議会の更なる活性化・透明化を推進するべく不断の改革を続けていく所存であります。

社会経済情勢の厳しい中ではありますが、町民の皆様とともに、より豊かな住み良いまちづくりをめざして取り組んでまいりますので、引き続き町議会に對しましてのご支援並びにご協力をお願い申し上げます。

結びに、壬生町の限らない繁栄と皆様方にとって本年が更なる飛躍の年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



壬生町議会議長
鈴木 理夫

鳥居元忠 武 山城伏見 別し



2017年

2月4日〔土〕—3月19日〔日〕

開館時間 午前9時—午後5時（火曜日は午後1時から）

休館日 月曜日

観覧料 一般200円、中学生以下無料

障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。

主催 壬生町教育委員会

壬生町立
歴史民俗
資料館

〒321-0225

栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33

（東武宇都宮線壬生駅下車、壬生城址公園内）

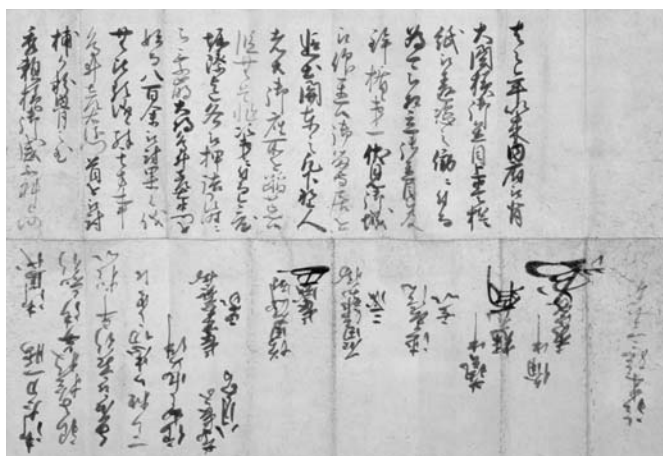
Tel 0282-82-8544



壬生藩鳥居家の祖・鳥居元忠は、徳川家康の竹馬の友として幼少時代から親交が深く、また忠義を誓った武将でもあります。関ヶ原の戦いの前哨戦となる山城伏見の城攻めに、1800の兵で城に籠り石田三成らが率いる4万の兵を迎え討ち、3日で落城するとみられながらも13日間戦い抜き、捨て石となって家康への忠義を果たし天下取りをさせた男です。

奇しくも今年は家康没後400年。この年、元忠没後333年を記念して行われた昭和8（1933）年の武者行列の映像（16ミリフィルム）が元忠を祀る壬生町精忠神社で発見されました。精忠神社の「武者行列」は明治7（1874）年から神輿渡行列として始まり、当時は「日光 水戸・壬生」の三力所で行われていない全国でも稀なる行事でした。映像では精忠神社境内に溢れんばかりの人々が映し出されており、元忠の忠義心が当時の壬生町民の精神的支柱となっていたことがうかがわれます。

本展では、発見された映像の上映や伏見城攻めに参戦した武将鳥居元忠、内藤家長、雑賀孫市、そして徳川家康の子孫を交えたシンポジウム、また、「精忠霊神」として祀られた元忠の遺品と、家康への忠義を果たしたいた関ヶ原の戦いに至るまでの関連資料を展示し、忠義の武将と言わしめた「鳥居元忠」を紹介します。



鳥居元忠
山城伏見ノ別シ

- 1 関ヶ原合戦図屏風(右隻) 敦賀市立博物館
- 2 豊臣秀頼感状 日光圓光寺
- 3 黒漆塗鶴丸紋鞘合口短刀 元忠所持 精忠神社
- 4 鳥居元忠像 常楽寺法寶蔵



〔交通のご案内〕

壬生城址公園内

電車：東武宇都宮線壬生駅下車 徒歩10分

JR 宇都宮線自治医大駅下車 タクシー15分

車：北関東自動車道「壬生 I.C.」より10分、

「都賀I.C.」より10分

〒321-0225
栃木県下都賀郡
壬生町本丸1-8-33
(東武宇都宮線
壬生駅より徒歩10分、
壬生城址公園内)
Tel. 0282-82-8544

壬生町立
歴史民俗
資料館



第5回 みぶまち 壬生町ゆうがお マラソン大会



12月4日(日)、壬生総合公園陸上競技場及び周辺道路において第5回壬生町ゆうがおマラソン大会が開催されました。ゲストランナーに高橋尚子さんをお迎えし、青空の下で約2,700名のランナーが激走を展開しました。レース終了後は、高橋尚子さんによる講評やオークションなどが行われ、大いに盛り上がりしました。

大会結果 優勝者

10km

男子 高校生以上～29歳以下	加藤 修平	32分32秒
男子 30歳以上～49歳以下	高畑 武	34分07秒
男子 50歳以上	大田原 啓	37分43秒
女子 高校生以上～39歳以下	山田 隆江	44分39秒
女子 40歳以上	刈屋 紀子	41分15秒

5km

男子 中学生	桑名 碧人	16分00秒
男子 高校生以上～29歳以下	山田 丈	16分06秒
男子 30歳以上～49歳以下	石川 朋彦	16分48秒

男子 50歳以上	諏訪 昌幸	17分38秒
女子 高校生以上～39歳以下	石川 史子	21分43秒
女子 40歳以上	大谷 弘子	20分43秒

3km

男子 小学校(4～6年)	永島 達介	10分43秒
女子 小学校(4～6年)	長島 結衣	11分11秒
女子 中学生	斎藤 さつき	10分39秒

2km

親子ペア小学校(1～3年)	足田 孝路・知希	7分30秒
ペア	阿部 広美・一希	6分27秒



このマラソン大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて開催されています

スポーツくじ

スポーツ振興くじ助成事業



壬生町ゆうがおマラソン大会出店売上金を町へ

みぶまち地域活性化21（大橋良平会長）は、12月4日（日）壬生総合公園陸上競技場で開催された、第5回壬生町ゆうがおマラソン大会に出店の協力をしました。

このたび当日参加した14店舗の皆様から、売上金の一部をまちづくりに役立てて欲しいと、町に50,000円の寄附がありました。

写真左から小菅町長、大橋会長、鯉沼副会長

みぶ菜の無料配布で知名度UP

壬生町農業委員会（梁島源智会長）は、町が特産品にしたと力を入れている「みぶ菜」の知名度UPを図るため、農業委員が協力して栽培したみぶ菜を、12月4日(日)に開催された第5回ゆうがおマラソン大会で無料配布し、PR活動を実施しました。配布は午前10時と11時の2回に行われ、1,000袋用意したみぶ菜ですが、いずれも15分程で配布終了する程の盛況ぶりでした。



平成28年度(第68回)明るい選挙啓発ポスターコンクール

県審査(第2次審査)で11名の作品が入賞

明るい選挙啓発運動の一助とするため、全国の児童生徒を対象とした「平成28年度(第68回)明るい選挙啓発ポスターコンクール」が行われ、県内の小・中・高生から、総数3,076点の作品が寄せられました。本町においても147点の応募があり、優秀作品として20点が第2次審査推薦作品として選出されました。

市町単位の第1次審査を通過した601点が第2次審査(県)に出品され、審査の結果、本町では塩崎萌乃さん(南犬飼中2年)の作品が優秀賞に輝き、中央審査会に出品されたほか、入選に4点、佳作に6点選ばれ、合計11点が入賞するすばらしい成績を上げました。

審査結果について、次のとおりです。

また、作品については、町公式ウェブサイトにて公開しております。

◎県審査(第2次審査)入賞(町審査入選作品)

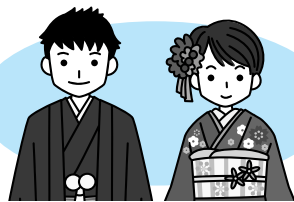
優秀賞	塩崎 萌乃 (南犬飼中2年)
入選	藤本 夢 (南犬飼中3年)
〃	小林 雪菜 (南犬飼中3年)
〃	坂田 真菜 (壬生中3年)
〃	吉田 花菜 (壬生中2年)
佳作	小倉 早織 (壬生中3年)
〃	佐藤 有紗 (壬生中2年)
〃	糸川 はな (南犬飼中1年)
〃	古郡 優衣 (壬生小6年)
〃	寺内 空来 (藤井小5年)
〃	増山 颯太 (稲葉小1年)

◎町審査

入選	諏訪 来実 (壬生中3年)
〃	佐藤 瑠稀 (南犬飼中3年)
〃	君島 さくら (南犬飼中3年)
〃	伊藤 媛香 (壬生小6年)
〃	櫻井 琴音 (安塚小6年)
〃	佐藤 莉彩 (壬生東小5年)
〃	廣瀬 虹光 (安塚小4年)
〃	中村 進大朗 (壬生北小3年)
〃	稲葉 陽咲 (壬生小3年)

～新成人の皆さんへ～

20歳になったら国民年金



国民年金は、年をとったときやいざという時の生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年をとったときや、病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。

国民年金のポイント

◎将来の大きな支えになります。

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するので、安定した年金の給付が生涯にわたって保障されます。

◎老後のためだけのものではありません。

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子のある配偶者」や「子」)が受け取れます。



「学生納付特例制度」と「納付猶予制度」

★「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

★「納付猶予制度」

20歳から50歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

国民年金のご相談・
手続等のお問い合わせ先

・ねんきんダイヤル……………☎0570-05-1165
・栃木年金事務所 お客様相談室……………☎0282-22-4134
・町民生部住民課国保年金係……………☎0282-81-1827

嘉陽が丘の里山整備を実施



11月13日（日）早朝より、地域の方約100名とボランティアの方約70名（壬生町造園業組合、建設業組合及び管工事業協同組合等）の協力により、嘉陽が丘ふれあい広場周辺の下草刈りや間伐、ごみ拾いが行われました。

この活動は、町の「明るく安全な里山林整備事業」を活用して、嘉陽が丘里山の会が主催し毎年実施しています。

現在は、多くの方のご協力により、美しく安全な里山が維持され、整備された遊歩道は、地元の方の散策や町駅伝チームのトレーニングコースとして利用されています。

篠竹を伐採し環境保全 上稲葉・自然を守る会

上稲葉・自然を守る会（おおぼろみお、大場文雄会長）では、地区内の環境を守るため草刈や花壇への植栽、景観作物の栽培等さまざまな活動を実施しています。

今回は、地区内の水路脇に篠竹や樹木が広範囲に繁茂し、隣接農地へ悪影響を及ぼしていることや有害鳥獣の住処になっていることから、11月20日～23日にかけて伐採を実施しました。

作業は、伐採用の歯を取り付けたバックホウとチェーンソーにより行い、人力で撤去を行いました。作業が進むごとに景色が一変し上稲葉の地が見渡せるようになったことから、参加者たちは作業の苦勞が吹き飛ばすほどの達成感を得ることができました。

エリアが広範囲であり、今年度だけの作業では終わらないことから、来年度も引き続き実施し環境保全に取り組む予定です。

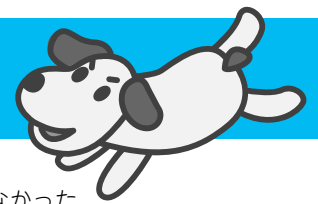


作業中



作業後

犬の飼い主の皆さんへ



○犬を家族に迎えたら、まず町に登録をしましょう。

新たに犬を飼う場合（購入、贈与等）、飼い主は犬を飼い始めてから30日以内に町に登録をしなければなりません。（ただし、出生の場合は90日を経過した日から30日以内。）（狂犬病予防法第4条）

登録された犬には鑑札が交付されます。鑑札は愛犬の住民票です。

もし、愛犬が住所移転や死亡した場合は必ずご連絡をお願いします。

○狂犬病予防注射を受けさせましょう。

狂犬病の予防注射は、日本国内で犬を飼育する場合、年1回必ず受けさせなければなりません。（狂犬病予防法第5条）

狂犬病はとても恐ろしい病気です。狂犬病は、犬に限らずヒトも含め、全てのほ乳類に感染する可能性があります。また、狂犬病は発症すると致死率はほぼ100%。つまり、発症してしまえば、現代の医学では助けることができません。

近年、日本での発症例は報告されていませんが、世界的には、毎年、狂犬病により数万人が亡くなっているといわれています。

ほ乳類の密輸等によって狂犬病がいつ日本に入ってくるかわかりません。狂犬病の予防注射は、愛犬を守るだけでなく、人を守るためのものなのです。

○犬はつないで飼いましょう（栃木県条例）

犬は多くの場合、飼い主には従順です。しかし、全ての人に従順というわけではありません。

実際に、壬生町内でも、鎖のはずれてしまった飼い犬が、他人を咬んで大けがを負わせてしまうという事件がおこって

います。

放し飼いやきちんとつないでいなかった

がために、飼い犬がほかの人や犬を傷つけた場合、飼い主がその責任をとり、損害賠償をしなくてはなりません。飼い犬はつなぐが、清潔なおりに入れて飼いましょう。

○犬のふんは持ち帰りましょう。（壬生町条例）

自分の敷地や家の前に犬のふんが落ちていたら不快に思いませんか？

また、子どもたちが遊ぶ公園で犬がふんをして、誰もそれを片付けなかったらどう思いますか？

犬のふんの持ち帰りは、飼い主が守るべき最低限のルール・マナーです。ふんは必ず持ち帰り、適正に処分しましょう。

○犬の尿も適切に処理しましょう。（壬生町条例）

他人の家の軒先や電信柱などは、臭いが残って迷惑になります。

散歩の前には必ず犬の排泄を済ませ、尿を水で流したり、させる場所を考えて散歩させましょう。

※愛犬は大切な家族の一員です。社会のルールを守って大切に飼育しましょう。

犬の登録や狂犬病予防注射についての届出、お問い合わせは…

町民生部生活環境課環境保全係 ☎0282-81-1834

動物に関するご相談は…

栃木県動物愛護指導センター ☎028-684-5458



まちトピ

©TOMYTEC/イラスト：MATSUDA98



年末の交通安全・防犯運動を実施

壬生町防犯組合連絡協議会（森島淳^{もりしまあつし}会長）では、年末を迎え事件事故が多発する傾向にあることから、壬生町からの事件事故を最小限にとどめるよう、自治会単位による防犯診断・パトロールや町内のスーパーマーケット等での街頭啓発活動を実施し、多くの方へ周知しました。

また、壬生町交通安全協会（田中作藏^{たなかさくざう}会長）では、広報車で町内を巡回し、年末の交通安全活動のお知らせ・協力を呼びかけました。また、交通安全啓発用のぼり旗を町内要所に掲出し、交通事故防止の活動を行いました。



人権擁護委員が街頭啓発活動を実施



国連が世界人権宣言を採択した12月10日（「人権デー」）を最終日とする1週間（12月4日から10日）を人権週間と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動として、町人権擁護委員協議会（鯉沼玲子^{こいぬまれいこ}会長）では、12月9日（金）に町内2カ所において、多くの方に人権の重要性を認識して頂くため、街頭啓発活動を実施しました。

また、当日は特設人権相談所を保健福祉センターに開設し、相談業務を実施しました。

壬生北小児童との交流会を実施 壬生町交通安全母の会

11月21日（月）、壬生北小学校にて、児童と壬生町交通安全母の会（大垣光枝^{おおがきみつえ}会長）会員との交流会が開かれ、バルーンアートと交通安全教室を実施しました。

当会の活動を広く知ってもらおうと今回初めて試みた交流会では、助け合いながら風船で犬を作成した後、より身近に交通ルールを学んでもらおうと学区内の道路の写真を利用した交通安全クイズを実施しました。



広告募集

「広報みぶ」に、お店や会社のPR、事業やイベントの宣伝など、町民の暮らしに役立つ広告を有料で掲載しませんか？

「広報みぶ」は壬生町民の皆さんに広く親しまれており、広告を掲載するには最適なメディアです。ぜひご活用ください。

町ホームページへのバナー広告掲載も随時募集しています。詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.town.mibu.tochigi.jp/koukoku.html>

◎問合せ先 ●町総務部総合政策課情報広報係 ☎81-1814

小学生からはじめる

ロボットプログラミング教室

生徒募集中！

詳しくは… [アーテック](#) [エジソンアカデミー](#)

ばそこん生活・本舗 ☎0282(82)1830

壬生町大師町6-3-103 定休日：日曜日、月曜日 受付時間：10時～17時

体験授業
受付中！



※事前予約が必要となります

検索



©TOMYTEC/イラスト：MATSUDA98

まちトピ



「災害時の歯科医療救護及び医療救護に関する協定」締結式を行いました。

町は、今後発生が想定される地震などの大災害時に備えて実効力のある医療救護を実施するため、一般社団法人下都賀歯科医師会壬生町支部、公益社団法人栃木県柔道整復師会のそれぞれと災害時協定を結びました。



左から壬生町長・下都賀歯科医師会 臼井会長

左から壬生町長・栃木県柔道整復師会 片岡会長

「平成28年度 男女共同参画推進講座」

『毎日を私らしく、いきいきと生きるために 今日からはじめる断捨離®!』を開催しました。



11月27日(日)に町保健福祉センター会議室を会場に、やましたひでこ公認断捨離®トレーナーこばやしりえ氏をお招きして、男女共同参画推進講座『毎日を私らしく、いきいきと生きるために 今日からはじめる断捨離®!』を町女性団体連絡協議会及び町教育委員会の共催で開催しました。

講座では、家も心もスッキリと豊かに自分の人生を生きるために、モノに支配され、振り回されている暮らしから、家にはびこる不要、不適、不快なモノを手放し、執着からの解放を学びました。また、断捨離は「今の私と関係が終了したモノ」を減らす、捨てる、手放すことで、他人と比較しない、他人のモノには手を出さないなどの鉄則です。

皆さんも断捨離で、自分の時間、空間、エネルギーを取り戻すことを目指してみませんか？

いきいき壬雷クラブ連合会演芸大会・作品展示会

12月14日(水)、高齢者が演芸を通じて会員相互の親睦と生きがいを高めることを目的に、城址公園ホールで第39回いきいき壬雷クラブ演芸大会及び第31回作品展示会が観覧者を含め400名の方が参加され盛大に開催されました。

大ホールでの演芸大会には、53組(157名)の出演者が、日頃練習してきた美しい歌声や優雅な踊りを披露し、大きな拍手と声援を浴びていました。中ホールでは、作品展示会が行われ、写真・絵画・日光彫・書道など61点の力作が展示され、観覧者からは「プロ級の腕前」に驚きの声が上がっていました。

最後に、日用品などが当たる抽選会が行われ、会員は楽しい一日を過ごしました。



※いきいき壬雷クラブ連合会の加入単位老人クラブには、概ね60歳以上の方であればどなたでも入会できます。是非お友達を誘ってご入会ください。詳しくは、町社会福祉協議会事務局(☎82-7899)まで。

みぶブランド認定第1号

「みぶこよみ 2017年版」

定価1,080円(税込) 限定発売中!

離れて暮らすご家族への贈り物に
遠くの友への近況報告に

1月からはじまる版、4月からはじまる版
の2種類あります。

メディアユウ出版販売有限公司

壬生町中央町16-31 壬生交番前
TEL 0282-82-6773 担当:山縣



《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

- 壬生町水道施設維持管理業務
- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

㊤セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-1-32-102



まちトピ

©TOMYTEC/イラスト：MATSUDA98



子育て支援センターの「クリスマス観劇会」

12月2日(金)、町の子育て支援センターとファミリーサポートセンター、児童館合同の「クリスマス観劇会」を開催しました。親子で130名の参加者は、劇団「つぼみ座」のペープサートシアター（人形や動物などの登場人物が描かれた紙に、割り箸や木の棒をくっつけたものを使用した人形劇）などを楽しみました。体あそびでは、0歳のお子さんもお母さんに抱かれながら、1歳以上のお子さんは立ち上がりリズムに合わせて体を動かし、盛り上がりました。

観劇会の終わりには、大きな袋を担いだサンタさんとトナカイが登場しました。小菅町長サンタさんからお土産を手渡されたお子さんたちは、ごきげんな様子を記念写真を撮ってもらっていました。



第54回栃木県統計大会

12月2日(金) 栃木県総合文化センターにおいて、第54回栃木県統計大会が開催され、^{たなかさくぞう}田中作藏さん・^{なか たようこ}中田洋子さん・^{まるやま}丸山サキさんが総務大臣表彰、^{こばやしみつこ}小林満子さんが栃木県統計協会名誉会長表彰を受賞されました。

それぞれ各種統計調査に従事され、統計調査の発展・推進に多大なる貢献をされています。

左から中田さん、田中さん

12月4日(日) 国際空手道連盟極真会館主催「2016関東空手道選手権大会」が茨城県武道館で開催されました。関東各地から657名のトップ選手が出場、関東チャンピオンを目指し熱戦が繰り広げられました。壬生教室からは^{もろこ}早乙女尚弥くん(メリーランド保育園年長)が出場し決勝戦へ進出、惜しくも判定負けとなりましたが、幼年組手の部で見事準優勝に輝きました。

「来年こそは優勝したい。これからも稽古を頑張ります。」と次の大会へ向け意欲を見せてくれました。

11月27日(日)、茨城県取手市で開催された「第20回NPO法人実武道会館オープン空手拳法選手権大会」の組手の部に^{はし}川田塾から11名(幼児～中学1年生)が出場、2名が入賞し、^の星野リリさん(壬生東小2年)が組手1年生の部で準優勝しました。本大会はオープントーナメント制で県内外から200名(組手・男女混合)が出場しました。

(女子は1学年下に出場)

空手道大会で準優勝！



地元と共に まごころサービス

鈴木自動車販売グループ

ロータスクラブ壬生車検センター

鈴木自動車販売株式会社

壬生町安塚1170-6

TEL: (86)0798

FAX: (86)0903

新車・中古車販売 くるま市店

スズキ販売壬生

壬生町安塚793-18

TEL: (86)3188

FAX: (86)3172

オートサービス安塚給油所

スタンドスズキ

壬生町安塚874-3

TEL: (86)0368

FAX: (86)0368

サイクル&モーターショップ

鈴木輪業

壬生町安塚1935

TEL: (86)0012

FAX: (86)0903

フリーダイヤル 0120-12-0798

栃木青年会議所「大好き！わたしのまち作文&標語」の表彰式が行われました。

11月26日（土）に「一般社団法人 栃木青年会議所」主催による「大好き！わたしのまち作文&標語 ～地域のこども作文&標語コンクール～」の表彰式が栃木市岩舟文化会館 コスモスホールで開催され、150名を超える参加がありました。

未来の地域の担い手である栃木市と壬生町のこどもたちに「自分が住む地域の良さ」などを主体的に考えてもらうために「大好き！わたしのまち」をテーマに作文と標語を募集し、壬生町教育長賞、壬生町PTA連合会賞の表彰を次の方が受けました。



壬生町教育長賞

- 作文賞「大好きなこの町と八坂祭」
田中あささん（壬生小学校6年）
- 標語賞「八坂祭 蘭学通りで だしをひく
伝統をまもる 壬生町」
青木康晟さん（壬生小学校5年）

壬生町PTA連合会賞

- 作文賞「大好き楽しい地域」
戸崎侑美さん（睦小学校5年）
- 標語賞「ふるさと祭り 花火がとっても きれいだな
私も大好き みんなの壬生町」
吉田愛美さん（壬生小学校5年）

※栃木青年会議所は、栃木市及び壬生町在住の20歳から40歳までの青年経済人の組織する団体です。

毎週土曜日朝9時から10時まで、歴史民俗資料館で、この『壬生論語古義抄』を使った素読の教室『壬生論語古義塾』を開催しています。自由参加ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、初回のみ300円の資料代がかかります。

この言葉は、人として正しく清らかな生き方をするこの大切さを表しているね。質素で贅沢をしない生活の中にも必ず楽しみや喜びがあるものだが、不正に金を儲けて高い地位を得るような生き方は、浮雲のようにはいかないものだということ

【みづまるから一言】



先生が言われた。「粗食を食べ、水を飲み、肘を枕とするような生活の中にも楽しみはある。正義に反することで富や地位を得るのは、私にとっては浮雲のようなものだ。」

（述而第七）

子曰く、疏食を飯い、水を飲み、肘を曲げて之を枕とす。楽しみ亦た其の中に在り。不義にして富み且つ貴きは、我に於て浮かべる雲の如し。

新しい論語素読のテキスト『壬生論語古義抄』から、章句を紹介します。

今月の「壬生論語古義抄」(34)

教育・文化・スポーツの振興に取り組む
こんにちは！壬生町教育委員会です！
第81回

【壬生町広報番組「壬生ホットチャンネル」放送中】

「壬生ホットチャンネル」では壬生町からのお知らせやイベント情報などのホットな話題をお伝えします

壬生ホットチャンネル(毎月1日更新/1日4回放送)

午前8時45分/午後0時45分/午後6時45分/午後11時15分

※番組の放送時間は、都合により変更になる場合がございます



栃木ケーブルテレビ 0120-25-1819

地上デジタル 111ch リモコン番号 11

CC9ステーション 今後の取材・放送予定

内容	開催日	放送日
壬生寺 節分会	2/3(金)	2/6(月)
壬生町バスケットボール大会	2/12(日)	2/14(火)

【CC9ステーション】毎週月曜～金曜 夕方6時更新
取材・放送の予定は予告なく変更の場合があります。予めご了承ください。



くろかわこうすけ
黒川煌介くん
(H28.1.11生)
(落合)



さへぐさなな と
三枝虹翔くん
(H28.1.23生)
(落合)



おおたに こ た ろ う
大谷虎太郎くん
(H25.1.27生)
(安塚中央)

みんなの 広場

わが家の
アイドル



次回は3月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。※町子育てサイトのトップページにもお写真のみ載せさせていただきます。

【締 切】2月20日(月)

【必要事項】氏名(ふりがな)(複数のアイドルが写っている場合はそれぞれ分かるように明記してください)、保護者名、生年月日、住所、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場総合政策課または稲葉・南犬飼出張所・子育て支援センターまで

【申 込 先】町総務部総合政策課 情報広報係
〒321-0292 壬生町通町12-22
Eメールアドレス
sougo@town.mibu.tochigi.jp



はしもとゆう と
橋本勇人くん
(H21.1.27生)
(安塚中央)



しょうた
翔太くん
(H24.4.14生)

こだてたく や
小館卓弥くん
(H28.1.8生)
(至宝町北)

ゆうた
悠汰くん
(H21.8.18生)

歴史民俗資料館だより

地域に眠る文化財シリーズ
壬生古墳群の謎14

『車塚古墳の「前庭」』

—謎がとけた祀りの場—

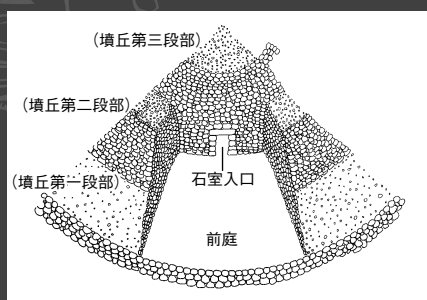
車塚古墳については、平成26年度から町教育委員会、茨城大学、東京学芸大学の合同チームで、破壊される以前の石室の状態と石室前面に広がる祭祀の場である「前庭」と言われる施設を確認する調査を続けてきました。そして、調査最終年度の9月の段階では、石室の状況については、川原石で構築された「羨道」という通路部分が現在残っている前室に続いていたことが確認されました。

施設は別紙復元図に示すような「前庭」の一部で間違いないとの結論にたつきました。

学生たちが三年間追いつけてきたものがやっと発見され、夏の季節に流した汗と苦労が報われました。

本年1月28日(土)には、車塚古墳が造られた時代をテーマとしたシンポジウム「北関東の豪族たち」が、城址公園ホールにて開催されます。多くの町民の方の来館をお待ちしております。

*詳しくは町歴史民俗資料館文化財係 ☎82-8544まで
お問合せください。



車塚古墳「前庭部」復元図

平成29年
3/1. 新築移転
石橋総合病院が新しく生まれ変わります!



石橋総合病院

お問合せ先

☎0285-53-1134

栃木県下野市石橋628(現住所)

移転先住所

栃木県下野市下古山1丁目15-4



2/19日

内覧会&開院記念イベント開催決定!

●詳細は当院HPまで!

<http://ishibashi-hp.jp/>



移転先



～命の大切さを知るために～

「壬生町自殺予防講演会」兼「子育て・親育ち講座」を開催しました。



12月7日(水)南犬飼中学校に「サザエさんのマスオさん役」や「アンパンマンのジャムおじさん役」でおなじみの声優、増岡弘さんをお呼びし、講演会を開催しました。

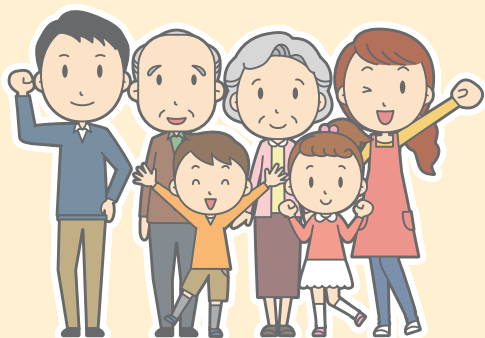
サザエさんのオープニング曲に合わせて登場した増岡さんがマスオさんの声であいさつをすると会場内はワッと大盛り上がり。とても楽しそうに笑顔で拍手をしていました。「サザエさん一家は幸せ探しの達人」という演題の元、講話が始まると、途端にぐっと引き込まれ、生徒たちも保護者たちも真剣な表情に。お話の一つ一つがとても感慨深く、心に響く内容で、みんなが時折涙を浮かべながら熱心に聞き入っていました。

1時間ほどの短い時間でしたが、命の尊さを学び、とても有意義なものとなりました。

寄 附

以下の方より、社会福祉に役立ててほしいと寄附がありました。

大衆の集い 様 36,272円



版画

「星が出た夜にしか咲かない不思議な花」



壬生東小 4 年
かわしま はる ひ
川島 春陽

私 の 作 品



壬生東小 2 年
まつばら すみ か
松原 純果



絵画「楽しい海の世界」

2月の納税等

- 固定資産税・都市計画税 (4期)
- 国民健康保険税 (8期)
- 介護保険料 (8期)
- 後期高齢者医療保険料 (8期)

納期限 2月28日

表紙の写真
壬生藩鳥居家の祖 元忠の没後333年
を記念し行われた、国内最古級 武者
行列の映像



町公式WEBも見てね！



©TOMYTEC
イラスト：みぶなつき

マチイロ

Androidの方



iOSの方



スマホ用アプリ (旧 i 広報紙)